

## ○事業目的

- ・ 東北中央自動車道の一部を形成
- ・ 一般国道13号の交通混雑の緩和
- ・ 地域の基幹病院への搬送時の安定性の向上
- ・ 物流効率化による更なる産業活動の支援
- ・ 速達性・定時性等の向上による農業支援

## ○計画概要

起終点 : 自 : 山形県新庄市十日町 (しんじょう とおかまち)  
 至 : 山形県新庄市大字昭和 (しんじょう しょうわ)

延長(開通済) : 8.2 km ( - km)  
 幅員 : 13.5 m  
 道路規格 : 第1種第3級  
 設計速度 : 80 km/h  
 事業化 : 平成24年度  
 用地着手 : 平成25年度  
 工事着手 : 平成26年度

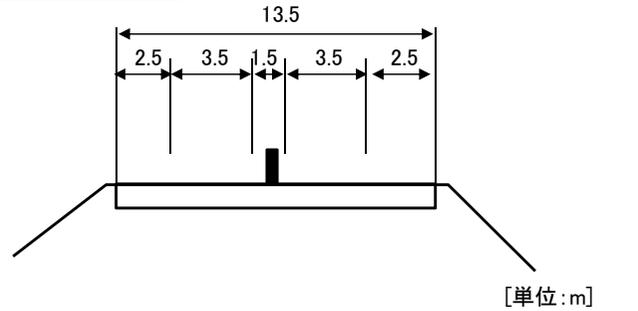
## 事業費・進捗率

	全体事業費 (うち用地費)	執行済み額 (うち用地費)	全体進捗率 (用地費)	H24新規事業 採択時 (用地費)
完成	190億円 (37億円)	32億円 (9億円)	17% (24%)	190億円 (37億円)

位置図



標準横断面図



[高規格幹線道路凡例]  
 ..... 評価対象区間(事業中)  
 —— 開通済

[その他道路凡例]  
 —— 一般国道  
 —— 主要地方道  
 —— 一般県道  
 ● H22センサス交通量



# コスト削減への取組内容

## ○新技術(コンパクト支承)の導入 (新庄北IC橋、泉田川橋 - 0.1億円)

### ・当初計画 : 0.78億円

一般的な積層ゴム構造の支承を想定

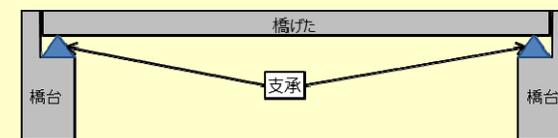
### ・変更計画 : 0.68億円

新技術であるディスク型の高支圧ゴムを用いたコンパクトなゴム支承を導入し、コスト削減を図る

	当初	見直し	変動
新庄北IC橋 (支承10基)	積層ゴム支承 (0.27億円)	コンパクト支承 (0.21億円)	(-0.06億円)
泉田川橋 (支承15基)	積層ゴム支承 (0.51億円)	コンパクト支承 (0.47億円)	(-0.04億円)
所要額	0.78億円	0.68億円	<b>-0.1億円</b>

### ※1. 支承

上部工と下部工の間に設置される部材であり、下部工へ常時受ける荷重の伝達はもとより、地震等で受ける水平荷重も伝達するもの



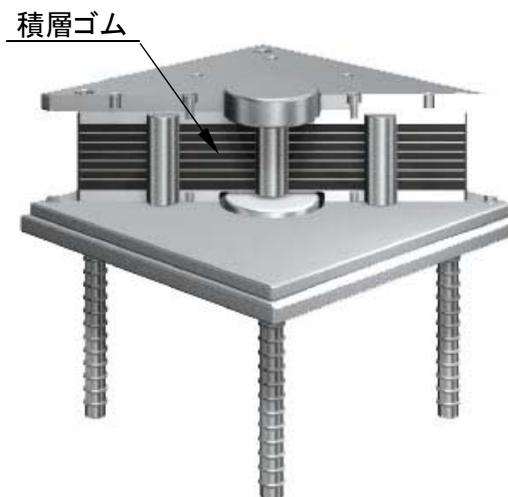
### ※2. コンパクト支承とは

- ・新技術であり、今回の、新庄北IC橋の様な固定可動の単純桁の橋梁や泉田川橋のような2径間固定の連続桁の橋梁に適用可能。
- ・阪神淡路大震災でゴム支承が普及したのと同時に、大地震への対応で支承が大型化し、コストアップしたのが開発の背景。
- ・近年はコンパクト支承の復旧が進んでおり、地整管内でも採用が増加傾向。

### 位置図



### 当初 積層ゴム支承



### 変更(新技術) コンパクト支承

